年間授業計画

高等学校 令和６年度（２学年用） 教科　国語　科目 文学国語

教　科： 国語　科　目： 文学国語　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ D 組

教科担当者：（ A組：相澤 ）（ B組：相澤 ）（ C組：指田 ）（ D組：指田 ）

使用教科書：（『新編 文学国語』（大修館書店）　）

教科 国語　の目標：

【知識及び技能】 国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めている。

【思考力、判断力、表現力等】 共感力や豊かな想像力を育むと共に考える力をも養い，他者との関わりの中で自らの考えを伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ力やその重要性を認識し、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養ったりしている。

科目 文学国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活で必要とされる国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において共感力や豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	読書に親しむことで自己を見つめると共に、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	A そとみとなかみ 【知識及び技能】 文学には自身のものの見方や感じ方、考え方を豊かにするといった意義や効用があることについて理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえ内容や構成、展開、描写の仕方などを捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材を通じ、自分の生き方について考えを深めている。	・角田光代「そとみとなかみ」 ・パワーポイントを活用した板書			○	【知識及び技能】 文学には自身のものの見方や感じ方、考え方を豊かにするといった意義や効用があることについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえ内容や構成、展開、描写の仕方などを捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 題材を通じ、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○		○	8
	定期考査						○	○		1
	C 一言で心をつかもう 【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、選んだ題材に応じた情報を収集・整理し、自らが表現したいことを明確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を引きつける内容になるよう、表現を工夫して書こうとする。	・ことばでスケッチ①「一言で心をつかもう」 ・パワーポイントを活用したキャッチコピーの作成		○		【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、選んだ題材に応じた情報を収集・整理し、自らが表現したいことを明確に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を引きつける内容になるよう、表現を工夫して書こうとしている。		○	○	5
	D 晴れた空の下で 【知識及び技能】 文学的な文章の読解を通じ、語感を磨き自らの語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方に着目することを通じ、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解することができる。	・江國香織「晴れた空の下で」 ・パワーポイントを活用した板書		○		【知識及び技能】 文学的な文章の読解を通じ、語感を磨き自らの語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方に着目することを通じ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
2学期	E 永訣の朝 【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 詩への関心をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとする。	・宮沢賢治「永訣の朝」 ・パワーポイントを活用した板書		○		【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 詩への関心をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	○	○		5
	F 山月記 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、日本の言語文化の特性について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、本文の文体の特徴や効果について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品本文の文体や登場人物の心情について理解を深めようとする。	・中島敦「山月記」 ・パワーポイントを活用した板書		○		【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、日本の言語文化の特性について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、本文の文体の特徴や効果について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品本文の文体や登場人物の心情について理解を深めようとしている。	○		○	10
	定期考査						○	○		1
	G その日東京駅五時二十五分発 【知識及び技能】 戦争を題材とした文学先品の意義について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品が成立した背景等を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味を持ち、登場人物の心情を理解したり作品の背景について考えを深めたりしている。	・西川美和「その日東京駅五時二十五分発」 ・パワーポイントを活用した板書		○		【知識及び技能】 戦争を題材とした文学先品の意義について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品が成立した背景等を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味を持ち、登場人物の心情を理解したり作品の背景について考えを深めたりしようとしている。	○		○	10
	定期考査						○	○		1
3学期	H 身内ほど厄介なものはない 【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら主体的に本文の内容を解釈し、異なる文化圏での言語表現の違いについて学ぼうとする。	・米原万里「身内ほど厄介なものはない」 ・パワーポイントを活用した板書	○	○		【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら主体的に本文の内容を解釈し、異なる文化圏での言語表現の違いについて学ぼうとしている。	○		○	5
	I 鉄道員 【知識及び技能】 名作と呼ばれる文学作品の読解を通じ、言語表現のもたらす効果について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、本文の内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の人間関係や心情などを意識しながら作品を味わおうとする。	・浅田次郎「鉄道屋」 ・パワーポイントを活用した板書		○	○	【知識及び技能】 名作と呼ばれる文学作品の読解を通じ、言語表現のもたらす効果について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、本文の内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の人間関係や心情などを意識しながら作品を味わおうとしている。		○	○	12
	定期考査						○	○		1
									合計	70

年間授業計画

高等学校 令和６年度（２学年用） 教科　地理歴史科　　科目 歴史総合

教　科：　地理歴史科　　科　目：　歴史総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　D　組

教科担当者：（　A～D組：高瀬　景作　　）

使用教科書：（ 明解　歴史総合（帝国書院）　　）

教科　地理歴史科　　の目標：　歴史的思考力を通して、国際社会に主体的に生きる日本国民としての資質を身に着ける。

【 知　識　及　び　技　能 】歴史における基本的な用語や事象についての理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】世界史的視野から、国際関係と我が国の近現代の歴史的展開を関連付けて説明できるようにする

【学びに向かう力、人間性等】身近な文化財から歴史的事象を探求する能力を育成するとともに文化財保護の資質を涵養する。

科目　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史的事象の背景について理解し、その知識を身に付ける。 近代の戦争を通じて国際的地位を高めた我が国の動向や国民の生活に与えた影響について理解し、その知識を身に付ける。	歴史的事象の背景について考察し、表現する。 近代の戦争を通じて国際的地位を高めた我が国の動向や国民の生活に与えた影響について考察し、適切に表現する。	歴史的事象の背景について関心を高め、意欲的に調べる。 近代の戦争を通じて国際的地位を高めた我が国の動向や国民の生活に与えた影響について関心を高め、意欲的に調べる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1 東アジアの文明 【知識及び技能】 東アジアの国名、風土や人々について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジアの風土や人々について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 東アジアの風土や人々について関心を高め、意欲的に調べる。	・指導事項 東アジアの国名、風土や人々、歴史について知識を身につけさせる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人１台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 東アジアの国名、風土や人々について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジアの風土や人々について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 東アジアの風土や人々について関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	2
	2 南・東南アジアの文明～南北アメリカの文明 【知識及び技能】 南・東南アジアの文明～南北アメリカの国名、風土や人々について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南・東南アジアの文明～南北アメリカの風土や人々について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 南・東南アジアの文明～南北アメリカの風土	・指導事項 南・東南アジアの文明～南北アメリカの国名、風土や人々、歴史について知識を身につけさせる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人１台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 南・東南アジアの文明～南北アメリカの国名、風土や人々について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 南・東南アジアの文明～南北アメリカの風土や人々について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 南・東南アジアの文明～南北アメリカの風土や人々について関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	3 歴史と私たち、特質と資料、近代化と私たち 【知識及び技能】 身近な資料や取り扱い方について理解する。歴史的な資料を読み解く。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な資料を読み解き、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的な資料について関心を高め、意欲的に調べる。	・指導事項 身近な資料や取り扱い方について理解させる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人１台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 身近な資料や取り扱い方について理解している。歴史的な資料を読み解いている。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な資料を読み解き、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的な資料について関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	7
	4 江戸時代の日本と結びつく世界 【知識及び技能】 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて関心を高め、意欲的に調べる。	・指導事項 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて理解させる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人１台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2学期	5 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について関心を高め、意欲的に調べる。	・指導事項 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について基礎的な歴史的事象と背景を理解させる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人１台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	7
	6 第一次世界大戦と日本の対応 【知識及び技能】 第一次世界大戦における歴史的事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦における歴史的事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦における歴史的事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について	・指導事項 第一次世界大戦における歴史的事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について理解させる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人１台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 第一次世界大戦における歴史的事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦における歴史的事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦における歴史的事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	7 日本の行方と第二次世界大戦 【知識及び技能】 第二次世界大戦の展開と終結、戦後の新たな国際秩序について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦の展開と終結、戦後の新たな国際秩序について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦の展開と終結、戦後の新たな国際秩序について関心を高め、意欲的に調べる	・指導事項 第二次世界大戦における歴史的事象の背景と、戦後の新たな国際秩序について理解させる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人１台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 第二次世界大戦における歴史的事象の背景と、戦後の新たな国際秩序について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦における歴史的事象の背景と、戦後の新たな国際秩序について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦における歴史的事象の背景と、戦後の新たな国際秩序について関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	8 グローバル化と私たち 【知識及び技能】 20世紀前半の世界とグローバル化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 20世紀前半の世界とグローバル化について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 20世紀前半の世界とグローバル化について関心を高め、意欲的に調べる。	・指導事項 20世紀前半の世界とグローバル化について歴史的事象とその背景について基礎的な知識を身につけさせる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人１台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 20世紀前半の世界とグローバル化について歴史的事象とその背景について基礎的な知識が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 20世紀前半の世界とグローバル化について歴史的事象とその背景について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 20世紀前半の世界とグローバル化について歴史的事象とその背景について関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	12
	9 学習の振り返り 【知識及び技能】 現代的な諸課題の形成と展望について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代的な諸課題の形成と展望について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代的な諸課題の形成と展望について関心を高め、意欲的に調べる。	・指導事項 現代的な諸課題の形成と展望について考察させる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人１台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 現代的な諸課題の形成と展望について基礎的な知識が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代的な諸課題の形成と展望について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代的な諸課題の形成と展望についてて関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	1
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

年間授業計画

五日市　高等学校 令和６年度（２学年用）教科　　数学　　科目 数学Ⅱ

教　科：　数学　　科　目：　　数学Ⅱ　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　　D　組

教科担当者：　　（AB組：西山・小林・松谷）　　（CD組：西山・小林・松谷）

使用教科書：（ 最新　数学Ⅱ　（数研出版）　　）

教科　　数学　　の目標：（　数学的な見方・考え方を働かせ，数学的な活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成する。　）

【知識及び技能】数学的な基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現処理する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察する能力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。

科目　数学Ⅱ　　の目標：（　「数学Ⅰ」と同様に，数学的活動を一層重視し，生徒の主体的な学習を促し，数学のよさを認識できるようにする。　）

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理、法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けることができる。	式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分、積分の考えにおいて、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決することができる。	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分、積分の考えにおける体系に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識して、それらの事象の草津に進んで活用しよ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　式と証明 【知識及び技能】 多項式の除法について理解するとともに、分数式の四則計算を行える。 【思考力、判断力、表現力等】 多項式を多項式で割った商と余りが計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 多項式、恒等式について関心を持つ。	①　式と証明 １．多項式の乗法と因数分解 ２．多項式の割り算 ３．分数式の乗法・除法 ４．分数式の加法・減法 ５．恒等式	【知識・技能】 ３次の展開公式、二項定理、多項式の除法、分数式の計算、恒等式を理解しているか。 【思考・判断・表現】 多項式を多項式で割った商と余りを計算でき、それをA=BQ+Rの式に表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味、関心を持って自ら数学に取り組めているか。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	B 単元　複素数と方程式 【知識及び技能】 複素数の定義，２次方程式の解法、解の判別の方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 複素数の範囲で二次式が因数分解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 複素数について関心を持つ。	③　複素数と２次方程式の解 １．複素数 ２．２次方程式の解と判別式 ３．解と係数の関係 ④　高次方程式 ４．剰余の定理と因数分解 ５．高次方程式の解法	【知識・技能】 複素数、解の公式、解と係数の関係、剰余の定理、高次方程式の解法を理解しているか。 【思考・判断・表現】 解の公式を用いて解くことができる２次方程式を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味、関心を持って自ら数学に取り組めているか。	○	○	○	22
	C　単元　図形と方程式 【知識及び技能】 内分点，外分点，2点間の距離の表し方，円の方程式を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，それを方程式を用いて表現し，図形の性質や位置関係について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】	⑤　点と直線 １．直線上の点 ２．平面上の点 ⑥　円 ５．円の方程式	【知識・技能】 内分点，外分点，２点間の距離の表し方，円の方程式を理解しているか。 【思考・判断・表現】 ２点間の距離，円の方程式を数式を用いて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味、関心を持って自ら数学に取り組めているか。				22
	定期考査			○	○		1
2学期	A 単元　三角関数 【知識及び技能】 三角関数ついて理解するとともに、三角関数のグラフを書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 相互関係の公式を用いて、他の三角関数を計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角関数について興味を持ち、理解しようとする。	⑦　三角関数 １．一般角 ２．弧度法 ３．三角関数 ４．三角関数のグラフ ５．三角関数を含む方程式，不等式 ⑧　加法定理 １．加法定理	【知識・技能】 三角関数を理解しているか。 【思考・判断・表現】 魁の公式を用いて解くことができる２次方程式を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味、関心を持って自ら数学に取り組めているか。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	B 単元　指数関数、対数関数 【知識及び技能】 指数関数、対数関数ついて理解するとともに、指数関数、対数関数のグラフを書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指数を対数に、対数を指数に変換することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 指数関数、対数関数について興味を持ち、理解しようとする。	⑨　指数法則と対数関数 １．指数法則 ２．指数関数とそのグラフ ３．対数 ４．対数の性質 ５．対数関数とそのグラフ	【知識・技能】 指数関数、対数関数を理解しているか。 【思考・判断・表現】 指数を対数に、対数を指数に変換することができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味、関心を持って自ら数学に取り組めているか。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
3学期	A 単元　微分、積分 【知識及び技能】 微分、積分ついて理解するとともに、各関数を適切に微分、積分することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 微分、積分の公式を用いて、導関数や原始関数を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 微分、積分について興味を持ち、理解しようとする。	⑩　微分法 １．平均変化率と微分係数 ２．導関数 ３．いろいろな関数の微分 ４．接線 ５．関数の増減 ６．関数の極大・極小 ７．関数の最大・最小 ⑪　積分法 １．不定積分 ２．不定積分の計算 ３．定積分 ４．定積分の性質 ５．面積	【知識・技能】 微分、積分を理解し、計算できているか。 【思考・判断・表現】 有理整関数について微分、積分を適切に計算できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味、関心を持って自ら数学に取り組めているか。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
						合計	140

高等学校 令和６年度（２学年用） 教科　理科　　科目 物理基礎

教　科：　理科　　科　目：　物理基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A 組～　D 組

教科担当者：（A組：中村　）（B組：中村　）（C組：中村　）（D組：中村　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ 東京書籍　『改訂 新編物理基礎』　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然の事物・現象に対する理科の見方・考え方を働かせ，基本的な知識と技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】科学的な見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験などを行うことを通して，探究する能力と態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め，見通しをもって観察，実験などを行うことを通して，科学的に探究する能力と態度を育てる。

科目　物理基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，物理的な現象についての観察，実験などを行うことを通して，物理に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能が身に付ける。	物理的な現象を対象に，探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法が習得できている。また，報告書を作成したり発表したりして，科学的に探究する力が育ませる。	物理的な現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	直線運動の世界 【知識及び技能】 運動の表し方，相対速度，及び等加速度直線運動に関する基本的な概念や公式を理解し，運動を解析する方法を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 等加速度直線運動をもとにして，多くの複雑な運動の理解に至ることを知り，運動の多様性と簡単な解析の方法を習得し，考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の様々な物体の運動に関心を持ち，意欲的に探究しようとする。それらの運動を理解する端緒としての直線上の運動に対して関心を抱き，運動の表し方・重力による運動に対して意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 速さ 速度 等速直線運動 合成速度と相対速度 加速度 等加速度直線運動 自由落下 鉛直投射 放物運動 ・教材 教科書 力学台車セット NHK高校講座 ・一人１台端末の活用 iPad	【知識・技能】 ・直線運動の定性的なことを説明できる ・直線運動の定量的なことを理解している。 ・観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、直線運動が関わる様々な物理現象を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・直線運動に関心をもち、それを意欲的に調べようとしている。 ・直線運動を物理学的な観点から考えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	力と運動の法則 【知識及び技能】 物体にはたらいている力を正しく見いだし，運動方程式を立てられる。また，つり合いの２力と作用・反作用を正しく区別できる。 さらに，重力による加速度をもつ落下運動についても正しく理解している。 摩擦力，及び液体や気体から受ける力（圧力，浮力，抵抗力）について理解している。それらがはたらくときの物体の運動を分析できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 日常に見られる運動や力のはたらきから様々な種類の力の概念を見いだし，力の性質や運動との関わりについて考察ができる。また，これらに関する観察・実験を通して，運動の３法則の理解を深め，身の回りに生じる様々な現象に対して正しく解析し，判断できる。 いろいろな力がはたらくときの運動について，グラフを活用しながら分析し，そのときの力と運動の関係を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 力のはたらき・性質と運動との関係について，日常に見られる様々な運動等を通して関心を持ち，科学的に探究しようとする。 身の回りに見られる様々な運動に関心を持ち，科学的に探究しようとする。	・指導事項 力とは 力のつり合い 力の合成と分解 作用・反作用の法則 慣性の法則 力と質量と加速度の関係 運動の法則 摩擦力 抵抗力と浮力 ・教材 教科書 NHK高校講座 ・一人１台端末の活用 iPad	【知識・技能】 ・力と運動の法則の定性的なことを説明できる ・力と運動の法則の定量的なことを理解している。 観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、力と運動の法則が関わる様々な物理現象を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・力と運動の法則に関心をもち、それを意欲的に調べようとしている。 ・力と運動の法則を物理学的な観点から考えようとしている。	○	○	○	16

仕事とエネルギー 【知識及び技能】 　仕事・仕事の原理・仕事率・エネルギーという基本的な概念を理解し，力学的エネルギー保存の法則について成立条件を含めて正しく知識を身につけ，活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 　物理での仕事と日常経験している仕事との相違について思いを巡らせ，物理による仕事の定義から導かれる結論を通して，身近な道具について仕事の原理から説明できる。さらに，力学的エネルギーとその保存の法則を使いこなして予測活動ができる 【学びに向かう力、人間性等】 　エネルギー概念と仕事について関心を持ち，意欲的に探究しようとする。また，力学的エネルギー保存の法則の有用性を知り，その法則をいろいろな運動を分析するために活用しようとする。	・指導事項 　仕事 　仕事の原理と仕事率 　運動エネルギー 　重力による位置エネルギー 　弾性力による位置エネルギー 　力学的エネルギーの保存 　いろいろな運動で見る力学的エネルギー ・教材 　教科書 　NHK高校講座 ・一人１台端末の活用 　iPad	【知識・技能】 ・仕事とエネルギーの定性的なことを説明できる ・仕事とエネルギーの定量的なことを理解している。 観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、仕事とエネルギーが関わる様々な物理現象を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・仕事とエネルギーに関心をもち、それを意欲的に調べようとしている。 ・仕事とエネルギーを物理学的な観点から考えようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
仕事とエネルギー 【知識及び技能】 　熱・熱平衡・比熱・熱容量・温度・ジュール熱・電力・内部エネルギー・熱機関・熱効率・エネルギー保存の法則等の基本について理解し，法則・公式を活用できる。 　また，エネルギー収支についても考えが及び，科学の進歩によってより低密度のエネルギーの利用が可能になりつつあることを知識として身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 　原子論的立場から熱と温度と熱運動について実証的・総合的に考察できる。また，エネルギーの変換に関する実験を行い，エネルギーについて考察するとともに，熱現象の不可逆性の観点から，エネルギーの有効活用について思考し，省エネルギーのための方法を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 　熱・温度・エネルギーの関係について関心を持ち，意欲的に探究している。また，様々なエネルギーの種類と変換について関心を持ち，人類が利用してきたエネルギーの種類と大量消費について探究しようとする。	・指導事項 　仕事 　仕事の原理と仕事率 　運動エネルギー 　重力による位置エネルギー 　弾性力による位置エネルギー 　力学的エネルギーの保存 　いろいろな運動で見る力学的エネルギー ・教材 　教科書 　NHK高校講座 ・一人１台端末の活用 　iPad	【知識・技能】 ・仕事とエネルギーの定性的なことを説明できる ・仕事とエネルギーの定量的なことを理解している。 観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、仕事とエネルギーが関わる様々な物理現象を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・仕事とエネルギーに関心をもち、それを意欲的に調べようとしている。 ・仕事とエネルギーを物理学的な観点から考えようとしている。	○	○	○	6

2学期	熱 【知識及び技能】 熱・熱平衡・比熱・熱容量・温度・ジュール熱・電力・内部エネルギー・熱機関・熱効率・エネルギー保存の法則等の基本について理解し，法則・公式を活用できる。 また，エネルギー収支についても考えが及び，科学の進歩によってより低密度のエネルギーの利用が可能になりつつあることを知識として身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 物理での仕事と日常経験している仕事との相違について思いを巡らせ，物理による仕事の定義から導かれる結論を通して，身近な道具について仕事の原理から説明できる。さらに，力学的エネルギーとその保存の法則を使いこなして予測活動ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 エネルギー概念と仕事について関心を持ち，意欲的に探究しようとする。また，力学的エネルギー保存の法則の有用性を知り，その法則をいろいろな運動を分析するために活用しようとする。	・指導事項 熱と温度 物質の三態 熱の移動と保存 熱と仕事 熱効率と不可逆変化 ・教材 教科書 NHK高校講座 ・一人１台端末の活用 iPad	【知識・技能】 ・熱の定性的なことを説明できる ・熱の定量的なことを理解している。 観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、熱が関わる様々な物理現象を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・熱に関心をもち、それを意欲的に調べようとしている。 ・熱を物理学的な観点から考えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	波 【知識及び技能】 波動に関する事象・現象についての基本的な概念を形成できていること。また，それらを支配している基本的な原理や法則を観察・実験などを通して理解し，知識を身につけている。 音が疎密波であることや，共振（共鳴）や定常波について理解し，楽器の原理を量的関係で捉えることができる。さらに，建物や橋などの地震対策が共振と関係していることを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 波動に関する基本的な観察・実験の技能を習得するとともに，その結果について考察し的確に表現できる。 弦楽器・管楽器の実験・観察を通して，定常波・共振・共鳴等に関する実験技能を 習得し，得られた結果をグラフなどを使って分析できる。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの波動現象に関心を持ち，それらの性質に関する現象に対して意欲的・科学的に探究する態度を身につけようとしている。 音波の特徴や性質・伝わり方，及び楽器の原理に関心を持ち，意欲的に探究しようとしている。	・指導事項 いろいろな波 波の伝わり方 波を表す 波の重ね合わせ 定常波 波の反射 音の伝わり方 振動する弦 振動する期中 ・教材 教科書 NHK高校講座 ・一人１台端末の活用 iPad	【知識・技能】 ・波の定性的なことを説明できる ・波の定量的なことを理解している。 観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、波が関わる様々な物理現象を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・波に関心をもち、それを意欲的に調べようとしている。 ・波を物理学的な観点から考えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

3学期	電気 【知識及び技能】 　電気や磁気に関する現象について，それらの基本的な概念を形成しているとともに，電流と磁界の相互作用によるエネルギー変換がモーターや発電機に利用されていることを理解している。また，発電所でつくられ利用されている交流の概念と利点を理解している。さらに，光や放射線を含めた電磁波の基本的な性質と種類についての知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 　家庭用電気機器をはじめ動力や通信機器等，個々の機器における電気・磁気の利用のされ方と性質の関係を的確に判断できる。 　身の回りの現象や機器で電磁波がどのように利用されているかを見いだすことができる。また，電波・放電が電気・磁気のどのような性質と関連しているかを理解し，考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 　今日の人間生活における電気・磁気との関わりに興味・関心を抱き，電気・磁気の基本的な性質と使われ方について意欲的に探究しようとする。 　発電所でつくられる電力や，光や放射線を含む様々な電磁波を効率的かつ安全に使う方法について関心を持ち，自ら実践しようとする態度を身につけようとする。	・指導事項 動かない電気、動く電気 電流と電気抵抗 直列接続と並列接続 電力と電力量 電流がつくる磁場 発電機のしくみ 直流と交流 電磁波 ・教材 教科書 NHK高校講座 ・一人１台端末の活用 iPad	【知識・技能】 ・電気の定性的なことを説明できる ・電気の定量的なことを理解している。 観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、電気が関わる様々な物理現象を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電気に関心をもち、それを意欲的に調べようとしている。 ・電気を物理学的な観点から考えようとしている。	○	○	○	12
	エネルギー 【知識及び技能】 　人類が利用可能な様々なエネルギーの特性や利用について理解している。特に，原子力の利用とそれに伴うリスクについて知るとともに，放射線の種類と特性，及び人体や環境への影響について理解し，ベクレルやシーベルトの単位を用いて定量的に見積もることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 　様々なエネルギーや放射能に関するデータについて，その妥当性，信頼性，客観性を科学的に考察し，判断することができる。 　放射線や放射能の被曝から身を守るための対処法について理解し，判断できる。 　エネルギー問題や原子力の利用について，科学的根拠に基づいて自分の意見を述べることができ，仲間と議論しながら一緒に考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 　近い将来に直面するであろうエネルギー問題について関心を持ち，その解決のために必要とされる基本的な科学知識や態度を身につけようとする。	・指導事項 エネルギーの変換と保存 エネルギーの利用 放射線の利用 原子力の利用 ・教材 教科書 NHK高校講座 ・一人１台端末の活用 iPad	【知識・技能】 ・エネルギーの定性的なことを説明できる ・エネルギーの定量的なことを理解している。 観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、エネルギーが関わる様々な物理現象を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・エネルギーに関心をもち、それを意欲的に調べようとしている。 ・エネルギーを物理学的な観点から考えようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和６年度（２学年用）　教科　理科　科目　化学基礎

教　科：　理科　科　目：　化学基礎　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　D　組

教科担当者：　（A組～D組：萬　結夢）

使用教科書：　（　高校化学基礎（実教出版）　）

教科　理科　の目標：

【 知識及び技能 】　日常生活を図りつつ物質とその変化を理解し、科学的探究に必要な基本的技能を習得する。

【思考力 判断力 表現力】　観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性】　物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探求しようとする態度を養う。

科目　化学基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1 化学と人間生活 【知識及び技能】 化学が物質やその変化を対象とする学問であること、身近な現象との関連性の理解。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な化学現象と化学との関連性の考察と判断。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物質や現象に対する興味関心の向上。	・指導事項 ①化学とは？②探究の取り組み。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人１台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 化学が物質やその変化を対象とする学問であることを理解する。物質の性質を調べる活動を通し科学的探究の方法を身に付いている。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の性質を調べるための科学的探究方法の提案や実験結果の科学的判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物質に注目し科学に対する興味・関心を高めることができる。	○	○	○	2
	2 物質とその構成要素 【知識及び技能】 物質の構成や種類、原子や元祖についての基礎知識の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の分離方法と身近な利用例についての関連性と考察。原子の電子配置と周期表との関連性の表現。 【学びに向かう力、人間性等】 物質に対する関心と探究する力の育成。	・指導事項 ①物質の分離 ②物質を構成する元素 ③元素の確認 ④物質の三態 ⑤原子のなりたち ⑥同位体とその利用 ⑦原子の電子配置 ⑧元素と周期表 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人１台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 混合物と純物質、単体と化合物の違いを理解している。混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する具体的方法を身に付けている。粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係で状態が変化することを理解できる。原子構造と電子配置を理解し簡単なモデルで表せる。 【思考力、判断力、表現力等】 原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解できる。観察・実験を通し混合物、純物質、単体、化合物について考察し特徴を説明できる。粒子の熱運動と温度の関係や粒子に働く力の関係をもとに温度と物質の状態変化の関係を的確に表現できる。原子の電子配置と周期表の族や周期との関係を理解し周期性が現れる理由を的確に表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 物質に関心をもち、その扱い方を理解しようとする。物質の構造や性質に関する事象について意欲的に探究しようとする。積極的に観察・実験を行い探究しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	3 化学結合1(イオン結合 金属結合) 【知識及び技能】 イオン結合、金属結合についての基礎知識の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 イオン、金属と身近な物質との関連性の考察と説明をする力の向上。 【学びに向かう力、人間性等】 原子・イオンに対する関心と探究する力の育成。。	・指導事項 ①イオン ②イオン結合 ③イオンからなる物質 ④金属結合と金属結晶 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人１台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付けている。イオン結合やイオン結合でできた物質の性質を理解している。金属結合や金属結晶の性質について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イオン結晶の性質をイオンやイオン結合にもとづいて説明できる。金属結晶の性質を金属結合にもとづいて的確に表現できる。物質の性質を調べる実験を通して化学結合と結晶の性質の関係を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質に関心をもち物質の取り扱い方を理解しようとする。 物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、探究しようとする。物質が原子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解しようとする。積極的に観察・実験を行い意欲的に探究しようとする。	○	○	○	7
	4 化学結合2(共有結合・分子の極性) 【知識及び技能】 共有結合や極性についての基礎知識の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 共有結合のしくみについて、周期表や電気陰性度から考察・説明できる力の向上 【学びに向かう力、人間性等】 分子や極性に対する関心と探究する力の育成。	・指導事項 ①共有結合 ②分子の極性 ③分子間に働く力 ④分子からなる物質 ⑤共有結合の結晶 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人１台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 共有結合を電子配置と関連付けて理解し、表し方や配位結合についての知識を身に付けている。電気陰性度や結合の極性を理解している。共有結合でできた物質の性質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 分子の極性を電気陰性度や結合の極性、分子の形をもとに総合的に判断できる。観察・実験を通して分子の極性と分子からなる物質の性質の関係を考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質に関心をもち物質の取り扱い方を理解しようとする。 物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、探究しようとする。物質が原子・分子などの構成粒子から成り立っていることを理解しようとする。積極的に観察・実験を行い意欲的に探究しようとする	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2学期	5 原子量と物質量 【知識及び技能】 原子量や分子量・式量、その量的関係についての基礎知識や計算技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量の必要性や量的関係について考察し、考え方を表現する力の習得。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の量的関係に対する関心と探究する力の育成。	・指導事項 ①原子量 ②分子量・式量 ③物質量と粒子の数 ④物質量と質量 ⑤物質量と気体の体積 ⑥溶解と濃度 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人１台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 原子量・分子量・式量を理解する。物質量が粒子の数にもとづく量であることを理解し、物質量と質量、気体の体積との関係も理解する。物質量を介し物質の質量や気体の体積を相互に変換できる。水溶液の濃度をモル濃度を用いて表したり濃度のわかっている水溶液中の溶質の物質量を計算によって求めたりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量からその量的関係を判断できる。観察・実験の過程から，自らの考えを導き出した報告書を作成し、発表できる。実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い結果を化学的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。積極的に観察・実験を行い探究しようとする。	○	○	○	7
	6 化学反応式と量的関係 【知識及び技能】 化学反応式と量的関係についての基礎知識および計算技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応式をもとにした量的関係の考察と考え方を表現する力の習得。 実験結果のグラフ化と結果の化学的考察と結果を発表する力の育成。 【学びに向かう力、人間性等】化学変化の量的関係と化学反応に対する興味関心の育成。	・指導事項 ①化学反応式 ②化学反応の量的関係 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人１台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 化学反応を化学反応式を用いて表せる。物質量の概念で化学変化の量的関係を把握する方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応式をもとに物質の量的関係を判断できる。 実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い結果を化学的に考察できる。化学反応の量的関係の実験から考察した報告書を作成・発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。積極的に観察・実験を行い探究しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	7 酸・塩基とその反応 【知識及び技能】 酸と塩基、酸性と塩基性、中和反応と塩についての基礎知識および計算技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 酸と塩基からおこる中和反応の仕組みと量的関係について、その関連性について考察し、考え方を表現する力の育成。実験結果のグラフ化と結果の化学的考察と結果を発表する力の育成。 【学びに向かう力、人間性等】 酸・塩基・中和反応と身近な現象との関連性に対する興味関心の育成。	・指導事項 ①酸と塩基 ②酸・塩基の強弱 ③水素イオン濃度とpH ④pHの測定 ⑤中和と塩 ⑥中和の量的関係 ⑦中和滴定 ⑧中和滴定曲線 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人１台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 酸と塩基の定義を理解し価数や強弱にもとづいた分類ができる。水溶液の性質と水素イオン濃度やpHとの関係を理解できる。中和反応、塩、塩の水溶液の性質を理解できる。中和反応の量的関係を理解し酸と塩基の量的関係を計算によって求めることができる。中和滴定の操作や中和滴定曲線を理解し実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 酸・塩基の実験から定義を理解し日常生活と関連付けて考察できる。学習課題に対して観察・実験や調査を計画・実施し，結果にもとづいて総合的に考察できる。中和滴定のもっているのかを理解し実験結果に対してどのような影響があるかを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 酸，塩基や中和反応に関心をもち、日常生活に関連付けて探究しようとする。酸と塩基の反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。積極的に観察・実験を行い意欲的に探究しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
3学期	8 酸化還元反応 【知識及び技能】 酸化還元反応についての基礎知識および計算技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化還元反応の仕組みと量的関係について、その関連性について考察し、考え方を表現する力の育成。実験結果のグラフ化と結果の化学的考察と結果を発表する力の育成。 【学びに向かう力、人間性等】 酸化還元反応と身近な現象との関連性に対する興味関心の育成。	・指導事項 ①酸化と還元 ②酸化数 ③酸化剤と還元剤 ④金属のイオン化傾向 ⑤金属の反応性 ⑥電池 ⑦電気分解 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人１台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 酸化・還元の定義を理解できる。酸化還元反応を酸化数の増減によって判断できる。酸化剤・還元剤のはたらきを理解し半反応式をもとに酸化還元反応を組み立てることができる。酸化還元反応の量的関係を理解できる。金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解している。酸化還元反応の利用例として電池や電気分解等があることを理解し電池の構成等の基本的な知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化剤・還元剤の観察から電子の授受としての規則性を見いだし表現できる。実験を通し、酸化・還元の定義と酸化数の定義の有効性を理解したうえで事物・現象の中に共通性を見出し論理的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 燃焼や金属の腐食などの反応に興味をもち電子の授受という観点で意欲的に探究しようとする。酸化還元反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。積極的に観察・実験を行い意欲的に探究しようとする。	○	○	○	12
	9 化学が拓く世界 【知識及び技能】 「化学基礎」での学習事項と日常生活・社身近な科学技術と結びつきを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 「化学基礎」で学習事項と日常生活や社会での活用例の考察力と表現力の育成。 【学びに向かう力、人間性等】 「化学基礎」での学習事項と日常生活や社会との結びつきに対する興味関心の育成。	・指導事項 日常の物質について考える。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 等 ・一人１台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 「化学基礎」で学んだ事柄が，日常生活や社会を支える科学技術と結びついていることが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会でどのように活かされているかを教科書の題材以外にも範囲を広げて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会の中でどのようにいかされているかに注目し，意欲的に探究しようとする。	○	○	○	1
	定期考査			○	○	○	1
						合計	70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（２学年用） 教科　保健体育　科目 体育

教　科： 保健体育　　科　目： 体育　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ D 組

教科担当者： 月曜日：加藤・河野・竹見 、 金曜日：森・河野・近藤

使用教科書： （ 大修館書店 Active Sports ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けることが身に付けることができる。	運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	○体つくり運動 【知識及び技能】 ・体つくり運動の行い方，体力 の構成要素，実生活への取り入れ方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体つくり運動に主体的に取り組もうとしている。	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	○体つくり運動 【知識及び技能】 ・体つくり運動の行い方，体力の構成要素，実生活への取り入れ方を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体つくり運動に主体的に取り組み、お互いに教え合おうとすることができる。	○	○	○	4
	○陸上競技・スポーツテスト 【知識及び技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解するとともに、種目特有の技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、勝敗などを受け止め、自己の課題に挑戦する姿勢を養う。	・短距離走、長距離走 ・やり投げ ・走り幅跳び	○陸上競技 【知識及び技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解するとともに、種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、勝敗などを受け止め、自己の課題に挑戦する姿勢を身に付けることができる。				7
	○バスケットボール 【知識及び技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋める動きによって攻防を展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、フェアなプレーを大切にすることや、一人一人のプレイを大切にする姿勢を養う。	・シュート ・パス ・ドリブル ・3対3 ・5対5	○バスケットボール 【知識及び技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋める動きによって攻防を展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、フェアなプレーを大切にすることや、一人一人のプレイを大切にする姿勢を身に付けることができる。				7
	○水泳 【知識及び技能】 ・各泳法において手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各泳法における自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むとともに、自己の課題や挑戦を大切にしようとすることや、事故防止に関するし姿勢を養う。	・クロール　泳法 ・平泳ぎ　泳法	○水泳 【知識及び技能】 ・各泳法において手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各泳法における自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むとともに、自己の課題や挑戦を大切にしようとすることや、事故防止に関する姿勢を身に付けることができる。				6

2学期	○体つくり運動 【知識及び技能】 ・体つくり運動の行い方，体力　の構成要素，実生活への取り入れ方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体つくり運動に主体的に取り組もうとしている。	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	○体つくり運動 【知識及び技能】 ・体つくり運動の行い方，体力の構成要素，実生活への取り入れ方を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体つくり運動に主体的に取り組み、お互いに教え合おうとすることができる。	○	○	○	2
	○水泳 【知識及び技能】 ・各泳法において手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各泳法における自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むとともに、自己の課題や挑戦を大切にしようとすることや、事故防止に関するし姿勢を養う。	・クロール　泳法 ・平泳ぎ　泳法	○水泳 【知識及び技能】 ・各泳法において手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各泳法における自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むとともに、自己の課題や挑戦を大切にしようとすることや、事故防止に関するし姿勢を身に付けることができる。				4
	○陸上競技 【知識及び技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解するとともに、種目特有の技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、勝敗などを受け止め、自己の課題に挑戦する姿勢を養う。	・持久走	○陸上競技 【知識及び技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解するとともに、長距離走の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、勝敗などを受け止め、自己の課題に挑戦する姿勢を身に付けることができる。				8
	○体育祭練習	・学年種目 ・100m ・大縄 ・リレー					8
	○体育理論 【知識及び技能】 スポーツの技能や戦術と体力トレーニングの方法について理解させる。 【思考力、判断力、表現力】 スポーツの技術や戦術と体力トレーニングついて課題を発見し、よりよい解決に向けて思考判断し、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組み、スポーツの技術や戦術、体力トレーニングについての学習に自主的に取り組む姿勢を身に付けさせる。	・運動・スポーツの学び方	○体育理論 【知識及び技能】 スポーツの技能や戦術と体力トレーニングの方法について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 スポーツの技術や戦術と体力トレーニングついて課題を発見し、よりよい解決に向けて思考判断し、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組み、スポーツの技術や戦術、体力トレーニングについての学習に自主的に取り組むことができる。				6

3学期	○サッカー 【知識及び技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋める動きによって攻防を展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、フェアなプレーを大切にすることや、一人一人のプレイを大切にする姿勢を養う。	・ドリブル ・パス ・シュート ・ミニゲーム	○サッカー 【知識及び技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋める動きによって攻防を展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、フェアなプレーを大切にすることや、一人一人のプレイを大切にする姿勢を養う。	○	○	○	9
	○ダンス 【知識及び技能】 ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方を理解し、特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表を行うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 お互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人に応じた表現や役割を大切にできるようにする。	・基本動作 ・即興ダンス ・作品作り ・発表会	○ダンス 【知識及び技能】 ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方を理解し、特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 お互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人に応じた表現や役割を大切にできる。				9
							合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（2学年用） 教科　保健体育　科目　保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　D　組

教科担当者：（A組：近藤）　（B組：河野）　（C組：近藤）　（D組：近藤）　（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ 新高等保健体育（大修館）　）

教科　保健体育　の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　保健　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営むための学習に主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 生涯を通じる健康 【知識及び技能ア】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題にに応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解させる。 【知識及び技能イ】 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する障害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】	ア．生涯の各段階における健康 ・思春期と健康 ・結婚生活と健康 ・加齢と健康 イ．労働と健康 ・労働災害と健康 ・働く人の健康の保持増進	【知識・技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題にに応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解することができる。 【知識及び技能②】 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する障害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解させる。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2学期	B 健康を支える環境づくり 環境と健康 【知識及び技能】 人間の産業活動は自然環境汚染引き起こし、健康に影響をもたらしたりする被害をもたらしたりすること、汚染物質の排出を抑制したり、適切に処理する必要があること、環境衛生活動は自然・社会環境及び人々の健康を守るためにおこな行われていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 人間の生活や産業活動によって引き起こされる自然環境汚染について、事例に応じて整理し、疾病等のリスク軽減するために、環境汚染の防止や改善策を思考し、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えさせる。	環境と健康 ・環境汚染と健康 ・環境と健康に関わる対策 ・環境衛生に関わる活動	B 健康を支える環境づくり 【知識及び技能ア】 人間の産業活動は自然環境汚染引き起こし、健康に影響をもたらしたり被害をもたらしたりすること、汚染物質の排出を抑制したり、適切に処理する必要があること、環境衛生活動は自然・社会環境及び人々の健康を守るためにおこな行われていることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 人間の生活や産業活動によって引き起こされる自然環境汚染について、事例に応じて整理し、疾病等のリスク軽減するために、環境汚染の防止や改善策を思考し、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができる。	○	○	○	4
	B 健康を支える環境づくり 食品と健康 【知識及び技能】 食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であること、安全性を確保するために、法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや適切な管理が重要であることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して健康被害の防止と健康の保持増進のための計画を立てることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えさせる。	食品と健康 ・食品の安全性 ・食品衛生に関わる活動	B 健康を支える環境づくり 食品と健康 【知識及び技能】 食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であること、安全性を確保するために、法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや適切な管理が重要であることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して健康被害の防止と健康の保持増進のための計画を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができる。	○	○	○	4
	B 健康を支える環境づくり 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 【知識及び技能】 人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他機関から保健・医療サービスが提供されていること、健康を保持増進するためには、自己の健康上の課題を把握し、保健機関・医療機関、保健・医療サービスを適切に活用していくことが重要であること、医薬品は大きく３つに大別され、その有効性や安全性が審査され販売に規制が設けられていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 保健・医療サービスの適切な活用や、医薬品の制度とその活用について理解し、自他の生活の質の向上のために利用法を整理し、説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えさせる。	保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 ・我が国の保健・医療制度 ・地域の保健・医療機関の活用 ・医薬品の制度とその活用	B 健康を支える環境づくり 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 【知識及び技能】 人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他機関から保健・医療サービスが提供されていること、健康を保持増進するためには、自己の健康上の課題を把握し、保健機関・医療機関、保健・医療サービスを適切に活用していくことが重要であること、医薬品は大きく３つに大別され、その有効性や安全性が審査され販売に規制が設けられていることを理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 保健・医療サービスの適切な活用や、医薬品の制度とその活用について理解し、自他の生活の質の向上のために利用法を整理し、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

3学期	B 健康を支える環境づくり 様々な保健活動や社会的対策 【知識及び技能】 我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対して各種保健活動や社会的対策が行われてることが理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために自他ができることを思考させる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えさせる。	様々な保健活動や社会的対策	B 健康を支える環境づくり 様々な保健活動や社会的対策 【知識及び技能】 我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対して各種保健活動や社会的対策が行われてることが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために自他ができることを思考することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができる	○	○	○	5
	B 健康を支える環境づくり 健康に関する環境づくりと社会参加 【知識及び技能】 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考えじゃたに基づいいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりについて、自他の課題の解決方法を話し合い、説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えさせる。	健康に関する環境づくりと社会参加	B 健康を支える環境づくり 健康に関する環境づくりと社会参加 【知識及び技能】 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考えじゃたに基づいいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりについて、自他の課題の解決方法を話し合い、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							35

五日市　高等学校 令和６年度（２学年用）　教科　外国語　　科目 英語コミュニケーションⅡ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅡ　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　D　組

教科担当者：（　AB組：近藤/内野/朝夷 ）（　CD組：近藤/森塚/朝夷 ）

使用教科書：（ COMET English Communication Ⅱ　　）

教科　外国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】学習で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】テーマについて必要な情報を聞き取ったり、読み取ることができ、そのことをふまえて自分の意見を書き、伝えあうことができる。

科目　英語コミュニケーションⅡ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。	本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができる。	本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	領域 読	領域 話［や］	領域 話［発］	領域 書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【COMET】 ・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけできるようにする。 ・本文の内容を読み，概要や要点を把握できるようにする。 ・本文で扱った言語材料(wantなど＋人＋to不定詞)を理解し，それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。 ・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができる。 【コーパス 1800】 英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。 【瞬間英作文】 英文を構造を理解した上で、日本語を見て、組み立て、正確に発音できるようにする。	【COMET】Lesson 1 【コーパス 1800】 Stage2 LESSON 17-Stage3 LESSON 8 【瞬間英作文】Part1 Lesson 1-5	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができている。	○	○	○	17
	定期考査			○			○		○	○		1
	【COMET】 ・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけできるようにする。 ・本文の内容を読み，概要や要点を把握できるようにする。 ・本文で扱った言語材料(疑問詞＋to不定詞)を理解し，それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。 ・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができる。 【コーパス 1800】 英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。 【瞬間英作文】 英文を構造を理解した上で、日本語を見て、組み立て、正確に発音できるようにする。	【COMET】Lesson 2 【コーパス 1800】 Stage3 LESSON 9-Stage3 LESSON 14 【瞬間英作文】Part1 Lesson 6-7	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができている。	○	○	○	20
	【COMET】 ・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけできるようにする。 ・本文の内容を読み，概要や要点を把握できるようにする。 ・本文で扱った言語材料(分詞)を理解し，それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。 ・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができる。 【コーパス 1800】 英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。 【瞬間英作文】 英文を構造を理解した上で、日本語を見て、組み立て、正確に発音できるようにする。	【COMET】Lesson 3 【コーパス 1800】 Stage3 LESSON 15-Stage3 LESSON 20 【瞬間英作文】Part1 Lesson 8-10	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができている。	○	○	○	18
	定期考査			○			○		○	○		1

2学期	【COMET】 ・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけできるようにする。 ・本文の内容を読み，概要や要点を把握できるようにする。 ・本文で扱った言語材料(if節・疑問詞節・seem)を理解し，それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。 ・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができる。 【コーパス 1800】 英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。 【瞬間英作文】 英文を構造を理解した上で、日本語を見て、組み立て、正確に発音できるようにする。	【COMET】Lesson 4-5 【コーパス 1800】 Stage4 LESSON 1-Stage4 LESSON 12 【瞬間英作文】Part1 Lesson 11-20	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができている。	○	○	○	20
	定期考査			○			○		○	○		1
	【COMET】 ・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけできるようにする。 ・本文の内容を読み，概要や要点を把握できるようにする。 ・本文で扱った言語材料(助動詞＋have＋過去分詞・過去完了)を理解し，それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。 ・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができる。 【コーパス 1800】 英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。 【瞬間英作文】 英文を構造を理解した上で、日本語を見て、組み立て、正確に発音できるようにする。	【COMET】Lesson 6-7 【コーパス 1800】 Stage4 LESSON 13-Stage5 LESSON 4 【瞬間英作文】 Part1 Lesson 21-Part2 Lesson 7	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができている。	○	○	○	20
	定期考査			○			○		○	○		1
3学期	【COMET】 ・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけできるようにする。 ・本文の内容を読み，概要や要点を把握できるようにする。 ・本文で扱った言語材料(関係代名詞what)を理解し，それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。 ・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができる。 【コーパス 1800】 英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。 【瞬間英作文】 英文を構造を理解した上で、日本語を見て、組み立て、正確に発音できるようにする。	【COMET】Lesson 8 【コーパス 1800】 Stage5 LESSON 5-Stage5 LESSON 10 【瞬間英作文】Part2 Lesson 8-12	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができている。	○	○	○	20
	【COMET】 ・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけできるようにする。 ・本文の内容を読み，概要や要点を把握できるようにする。 ・本文で扱った言語材料(関係副詞)を理解し，それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。 ・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができる。 【コーパス 1800】 英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。 【瞬間英作文】 英文を構造を理解した上で、日本語を見て、組み立て、正確に発音できるようにする。	【COMET】Lesson 9 【コーパス 1800】 Stage5 LESSON 11-Stage5 LESSON 16 【瞬間英作文】Part2 Lesson 13-17	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができている。	○	○	○	20
	定期考査			○			○		○	○		1
												合計 140

年間授業計画

高等学校 令和6年度（２学年用） 教科　家庭　　科目 家庭基礎

教　科： 家庭　　科　目： 家庭基礎　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ D 組

教科担当者：（A組：田中・深谷）（B組：田中・深谷）（C組：田中・深谷）（D組：田中・深谷）

使用教科書：（『家基705家庭基礎　気づく力　築く未来』　実教出版　　）

教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章　これからの人生について考えてみよう ・「家庭基礎」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解する。 ・ライフステージごとの特徴・課題を理解する。 ・自分の特徴や長所に気づき、人生を展望できるようにする。	・ライフステージにおける発達段階について学び、現在の自分の課題を考える。 ・今の自分について自己分析を行い、未来予想図を描く。	【知識・技能】自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。	○	○	○	4
	第６章 食生活をつくる ・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 ・健康で豊かな食生活をはぐくむための気づきや工夫を理解する。 ・調理実習①	・食事調査を通して、各自の食生活の問題点に気づく。 ・ライフステージごとの食生活の特徴を学ぶ。	【知識・技能】食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。 【思考・判断・表現】自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	○	○	○	4
	・人生設計に必要な要素を理解する。 ・自分の将来とこれからの社会について考えることができるようにする。	・人生をデザインするうえで必要な準備を考え、シミュレーションする。 ・こんにちの社会背景を踏まえて、具体的に生涯にわたる生活設計を考える。	【知識・技能】自分自身や現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題を見つけることができる。 【思考・判断・表現】自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え、ワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができる。	○	○		4
	第７章 衣生活をつくる ・人はなぜ衣服を着るのか理解する。 ・衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につける。 ・だれもが快適な衣生活を送るための要因を理解する。 ・実習(ペンケース)	・季節ごとの着こなしについて考える。 ・衣服の起源や歴史、風土に適した衣服について知り、人はなぜ衣服を着るのか考える。 ・衣服が持つ機能や安全性などについて学ぶ。	【知識・技能】基本的な裁縫技術を身につけペンケースを完成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。	○		○	8
	・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。	・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 ・食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える。	【知識・技能】栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点を持って、知識を深めようとしている。	○		○	7
	定期考査			○	○		1

2学期	第2章　自分らしい生き方と家族 ・結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する。	・「家族」の条件とは何か考える。 ・家族のライフイベントについて考える。 ・家族が抱える問題を踏まえて、家族を支えるしくみについて具体的に考える。	【知識・技能】結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】・家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめ、討論やレポートを通して発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心を持とうとしている。	○	○	○	6
	第9章　消費行動を考える ・消費行動において、意思決定のプロセスが重要であることを認識する。 ・情報リテラシーを身につける大切さを理解する。 ・契約、多様な販売方法や支払い方法、問題商法について理解する。また、被害にあった場合の解決方法についても理解する。	・主体的な消費行動について多角的に考える。 ・情報社会における生活情報について知り、その適切な活用方法について考える。 ・契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・問題商法による被害を未然に防ぎ、早期解決する方法を考える。	【知識・技能】消費行動について、さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 【思考・判断・表現】消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	○	○	○	8
	第３章　子どもとかかわる ・育児を学ぶ意義について理解する。 ・10代の健康が、将来生まれてくる子どもにつながっていることを理解する。 ・子どもの世界と出会うことによって、自己理解を深める。	・青年期の健康を学ぶことで、次世代を担う子どもを育て、はぐくんでいくことの責任感を養う。 ・子どもの感じ方についての例を出しあう。	【知識・技能】子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】子どもの世界について、自分の子どものころを思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもとかかわりながら、理解しようとする。生命の尊さについて、自分の現在、将来と結びつけながら、学習しようとする意欲がある。	○	○	○	8
	第4章　高齢者とかかわる ・高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。 ・高齢期の心身の変化による生活行動の不安に気づき、改善をする。 第5章　社会とかかわる ・生活の中で、よりよく暮らすための解決方法を考える。 ・ひとりで取り組むだけでなく、協働することの意義を知る。	・高齢者についてのイメージをまとめる。 ・高齢者の生活場面を体験する。 ・高齢者と家族とのかかわり、経済、社会での活躍などを知り、高齢者における生活の課題について考える。 ・生活をあらためて見直し、解決することを検討する。 ・具体的な解決方法を探り、実際に改善する。	【知識・技能】高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】社会の一員としての自覚を持ち、ボランティア活動や支えあう活動への興味・関心を持って、調査・参加しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3学期	第８章 住生活をつくる ・住まいはどのような機能を持ち、人の生活がその機能とどうかかわっているか理解する。 ・家庭内事故や災害について学習し、安全な住まい環境について理解する。	・生活と住まいの機能とのかかわりについて考える。 ・気候風土と住まいとの関係、そこでの人間の営みとの関係を考える。	【知識・技能】日本独特の生活様式と、それに伴う住まいの特徴を理解している。 【思考・判断・表現】現代のライフスタイルやライフステージに応じた住まいについて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造に向けて意欲的に取り組もうとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第10章　経済的に自立する ・家庭経済と国民経済、国際経済の関係性に気づく。 ・家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。 ・生活設計とかかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。	・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・収入と支出にはどのような項目があるのか学ぶ。 ・適切な家計管理について考える。 ・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済 計画について学ぶ。 ・金融商品の特徴と選択基準を学ぶ。	【知識・技能】家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 【思考・判断・表現】現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
							合計 70

高等学校 令和６年度（２学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教　科：総合的な探究の時間　　科　目：総合的な探究の時間　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　D　組

教科担当者：（　A組～D組：東濱　卓、近藤　清文、萬　結夢、高瀬　景作、高平　澄佳、相澤　瑞穂、小林　昌平、山本　ことみ　）

使用教科書：（「人間と社会」(改訂版教科書)　　）

教科　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】進路探究を通して１人１資格取得・１検定合格・１コンテスト出場（入賞）を達成する。

【思考力、判断力、表現力等】地域探究のプロジェクト活動を通して、自分に何ができるようになったかを言語化する。進路探究と自己探究を通して、卒業後の進路について深く考え、希望進路を決定する。また志望理由書を仮完成させる。

【学びに向かう力、人間性等】4月に設定した目標を１月になり照らし合わせ、自己の成長や進路希望が深まったかを振り返れるようにす

科目　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
進路探究を通して１人１資格取得・１検定合格・１コンテスト出場（入賞）を達成する。	地域探究のプロジェクト活動を通して、自分に何ができるようになったかを言語化する。進路探究と自己探究を通して、卒業後の進路について深く考え、希望進路を決定する。また志望理由書を仮完成させる。	4月に設定した目標を１月になり照らし合わせ、自己の成長や進路希望が深まったかを振り返れるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 自己探究 【知識及び技能】 ・合格したい資格や挑戦したいコンテストの目標を立てさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の進路に合った目標設定をさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来の進路を意識して目標を立てさせる。	・ガイダンス ・Classiポートフォリオ ・ワークシート	【知識・技能】 ・合格したい資格や挑戦したいコンテストの目標を立てている。 【思考・判断・表現】 ・自分の進路に合った目標設定ができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・将来の進路を意識して目標を立てることができている。	○	○	○	5
	B 地域探究 【知識及び技能】 ・地域の課題を踏まえたプロジェクト活動の目標を考えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・プロジェクト活動を通して感じたことや出来事をエピソードとして言語化させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・プロジェクト活動に積極的に取り組ませる。	・外部講師と連携したプロジェクト活動 ・校外活動を計画的に取り入れる ・Classiポートフォリオ	【知識・技能】 ・地域の課題を踏まえたプロジェクト活動の目標が考えられている。 【思考・判断・表現】 ・プロジェクト活動を投資て感じたことや出来事をエピソードとして言語化できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プロジェクト活動に積極的に取り組むことができている。	○	○	○	10
	C 進路探究 【知識及び技能】 ・希望進路について考えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・志望理由書に必要な項目について一通り文章で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の進路実現に向けてPDCAを意識した取組をさせる。	・進捗状況の面談 ・外部講師と連携した講演や授業 ・Classiポートフォリオ	【知識・技能】 ・希望進路について考えることができる。 【思考・判断・表現】 ・志望理由書に必要な項目を一通り文章で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の進路実現に向けてPDCAを意識した取組ができている。	○	○	○	10

2学期	A 自己探究 【知識及び技能】 ・合格したい資格や挑戦したいコンテストに向けて知識を増やし技能を高める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の進路に合った目標の進捗状況を言語化させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来の進路を意識して立てた目標に向かって努力させる。	・進捗状況確認ガイダンス ・Classiポートフォリオ ・ワークシート	【知識・技能】 ・合格したい資格や挑戦したいコンテストに向けて知識を増やし技能を深めている。 【思考・判断・表現】 ・自分の進路に合った目標の進捗状況を言語化することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・将来の進路を意識して目標に向かって努力することができる。	○	○	○	5
	B 地域探究 【知識及び技能】 ・プロジェクト活動の意義をまとめ、プロジェクトに関連する知識や技能を高める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・プロジェクト活動の成果を五高フェスで披露する。五高フェスでの成果を踏まえた１年間のまとめをPowerPointに整理する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・五高フェスに向けてプロジェクトメンバーと協力して取り組ませる。	・外部講師と連携したプロジェクト活動 ・校外活動を計画的に取り入れる ・Classiポートフォリオ ・surface（PowerPoint）	【知識・技能】 ・プロジェクト活動の意義をまとめ、プロジェクトに関連する知識や技能が高まっている。 【思考・判断・表現】 ・プロジェクト活動の成果が五高フェスで披露されている。また五高フェスでの成果を踏まえた１年間のまとめをPowerPointに整理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・五高フェスに向けてプロジェクトメンバーと協力して取り組むことができる。	○	○	○	10
	C 進路探究 【知識及び技能】 ・希望進路について考えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・志望理由書に必要な項目について一通り文章で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の進路実現に向けてPDCAを意識した取組をさせる。	・進路ガイダンス ・外部講師と連携した講演や授業 ・Classiポートフォリオ	【知識・技能】 ・希望進路について考えることができる。 【思考・判断・表現】 ・志望理由書に必要な項目を一通り文章で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の進路実現に向けてPDCAを意識した取組ができている。	○	○	○	10
3学期	A 自己探究 【知識及び技能】 ・目標にした資格やコンテストの成果を出す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の進路に合った目標達成までのプロセスを言語化させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来の進路を意識して立てた目標に向かって振り返させる。	・振り返りガイダンス ・Classiポートフォリオ ・ワークシート	【知識・技能】 ・目標にした資格やコンテストの成果を出している。 【思考・判断・表現】 ・自分の進路に合った目標達成までのプロセスを言語化することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・将来の進路を意識して立てた目標に向かって振り返ることができる。	○	○	○	4
	B 地域探究 【知識及び技能】 ・発表技術を高めさせる。沖縄修学旅行のために沖縄に関する調べ学習を行い、知識を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・探究成果発表会において、１年間のプロジェクト活動の発表を行う。沖縄修学旅行のために調べた事柄をPowerPointにまとめさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・探究成果発表会に向けてプロジェクトメンバーと協力して取り組ませる。沖縄修学旅行に向けて調べ学習に積極的に取り組ませる。	・外部講師と連携したプロジェクト活動 ・校外活動を計画的に取り入れる ・Classiポートフォリオ ・surface（PowerPoint）	【知識・技能】 ・探究成果発表会において発表技術が高まっている。調べ学習を通した沖縄修学旅行の知識が増えている。 【思考・判断・表現】 ・探究成果発表会で、１年間のプロジェクト活動の発表をすることができる。沖縄修学旅行のための調べた事柄をPowerPointにまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プロジェクトメンバーと協力して探究成果発表会に臨むことができている。沖縄修学旅行の調べ学習を積極的に取り組めている。	○	○	○	8
	C 進路探究 【知識及び技能】 ・希望進路について考えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・志望理由書に必要な項目について一通り文章で表現させ、個人スピーチを行う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の進路実現に向けてPDCAを意識した取組をさせる。	・ガイダンス ・外部講師と連携した講演や授業 ・Classiポートフォリオ	【知識・技能】 ・希望進路について考えることができる。 【思考・判断・表現】 ・志望理由書に必要な項目を一通り文章で表現することができ、個人スピーチができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の進路実現に向けてPDCAを意識した取組ができている。	○	○	○	8
							合計
							70